

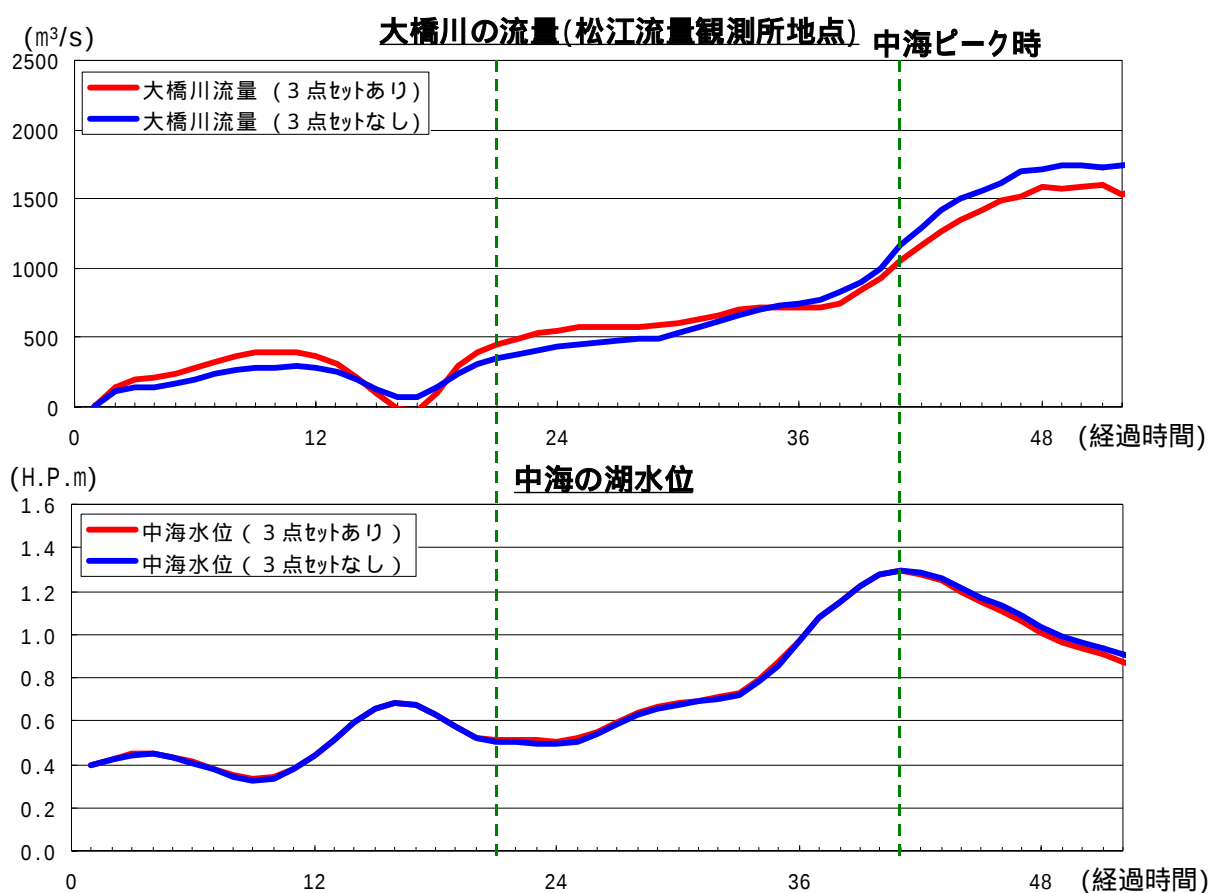
■ 中海に関する質問

Q 1 . 大橋川改修による中海の洪水時の水位はどうなるのか。大橋川から中海へ入る洪水の水量が増えれば、中海の洪水時の水位は上がるのではないか。

【回答】

3点セットが整備された場合には、上流部のダムで一時的に洪水を貯め、中流部の斐伊川放水路で斐伊川本川の洪水を神戸川へ分流し、宍道湖への洪水の流入量を大幅に減らすとともに大橋川改修により水はけを良くします。これにより、宍道湖の水位の上昇が 1m 以上抑えられます。これらの効果により、大橋川改修を行っても中海の洪水時の水位は、3点セット無しの状態に比べて上昇しない計画としています。

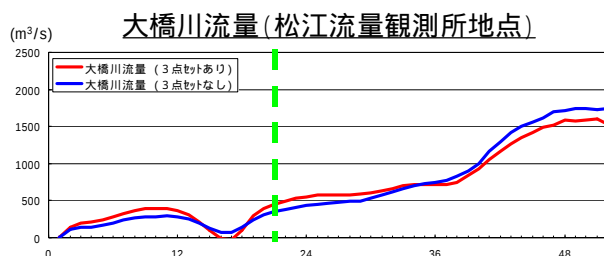
(大橋川流量と中海の湖水位の関係)



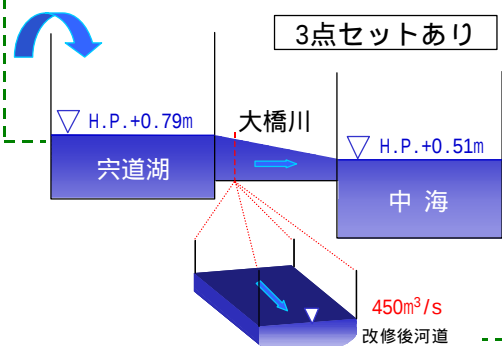
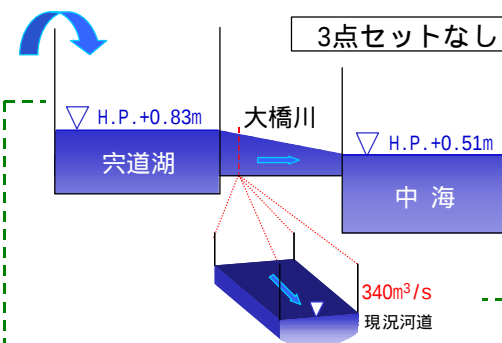
(3点セット整備前後の大橋川流量(洪水初期))

洪水初期においては、穴道湖へ流入する斐伊川本川の流量が、「3点セットあり」、「3点セットなし」で大きく変わらない。

穴道湖と中海の水位差がほぼ同じことから、大橋川の川幅を拡げた「3点セットあり」のケースの方が、大橋川の流量が大きい。



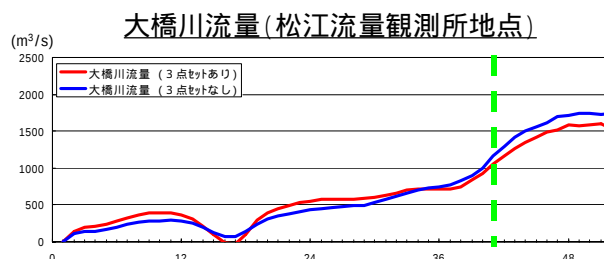
21時間経過時点



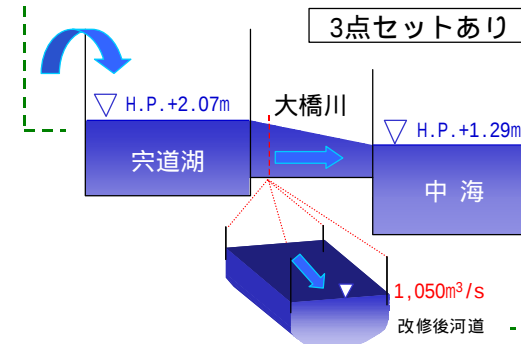
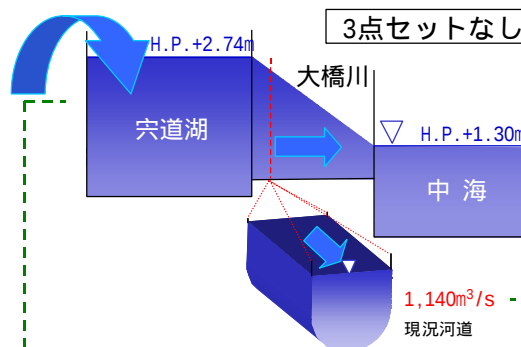
(3点セット整備前後の大橋川流量(中海の洪水ピーク時))

上・中流部のダム・放水路の効果により穴道湖への流入量が少なくなるため穴道湖水位が大きく低減

大橋川の川幅を拡げて、穴道湖と中海の水位差が小さくなることから、「3点セットなし」と比べて大橋川の流量が減少



41時間経過時点



Q 2 . 中海の湖岸の堤防は、整備が遅れているのではないか。

【回答】

中海の湖岸の堤防の整備状況は、別図のとおりです。

平成 1 5 年度に行いました測量調査によると、全体の約 9 割弱が、洪水時の中海の計画高水位以上の堤防の高さが確保されている結果となっています。

今後、関係する管理者と連携を図りつつ、整備を促進することとしています。

(中海湖岸堤の整備状況図)

Q 3 . 環境調査にあたっては、中浦水門の撤去、西部承水路堤の撤去、今後決定される本庄工区の堤防開削の条件を盛り込むのか。

【回答】

「中海に関する協議会」での合意の結果を踏まえ、大橋川改修の環境調査を進めることとしています。

Q 4 . 大橋川改修と本庄工区の堤防開削の問題はセットで考えるのではないか。

【回答】

大橋川改修の工事着手に当たっては、鳥取県と島根県の間で、本庄工区の堤防の取り扱いの方針が決定されることとなっています。

現在行っている大橋川改修の環境調査や今後実施する「まちづくりと一体となった具体的計画内容」の検討に当たっては、本庄工区の堤防の取り扱いを踏まえることとしています。

Q 5 . 本庄工区の堤防を開削することで大橋川改修の計画への影響があるのではないか。

【回答】

本庄工区の堤防開削については、「中海に関する協議会」において検討されており、最終的な大橋川改修の計画は、「中海に関する協議会」における合意の結果と整合するものとなるよう考えています。

Q 6 . 中浦水門の撤去、さらに本庄工区の干拓堤防が開削されれば、洪水時の流れが良くなり宍道湖・中海の水位が下がるのではないか。

【回答】

今回お示した具体的内容では、中浦水門の撤去と西部承水路堤の撤去については大橋川改修の検討の前提条件としており、これらによる洪水時の中海の水位の低下は見込んでいます。宍道湖については、川幅の狭い大橋川が介在することにより、水位低下はほとんど期待できません。

また、本庄工区の干拓堤防の開削については、仮に大海崎堤、森山堤を一部開削（開削幅 200m）したとしても、数値シミュレーションによる試算の結果、中海の洪水時の水位の低下は 1 cm 未満であり、治水に関しては有意な効果はないものと考えます。

Q 7 . 近年高潮によって支川、水路からの逆流や堤体からの漏水による浸水被害が発生しているが、中海の湖岸堤整備はどう考えているのか。

【回答】

国土交通省が管理する湖岸堤については、当面の目標として、計画高水位以上の高さが確保できるよう、これまでも順次整備を進めてきています。

今後の中海の湖岸堤整備については、平成 1 5 年度に湖岸の測量が完了し、平成 1 6 年度中を目途に、どの箇所から水が入り、どの程度浸水するのかについて、堤防の高さや背後地の土地利用状況を含めて整理を行っているところです。平成 1 7 年度の早い段階に、沿岸の市町や湖岸堤の管理者と情報を共有し、整備の促進に努めていきます。

(中海湖岸堤の整備状況図)

Q 8 . 近年の高潮の頻発に伴い、地下水位が高くなり弓浜部の農作物にも被害が出ているが、その対策はどうなるのか。

【回答】

大橋川の環境調査を進める中で、大橋川改修に伴う中海の水位の変化については予測します。これにより、中海の水位の大きな変化が予測された場合には、地下水位の影響の検討を行います。

また、中海の湖岸堤の整備を促進する観点から、中海の水位と地下水位の関係やその経年変化について、関係機関の協力を得て調査する予定です。